

あなたが主演 第5期花見川区地域福祉計画 花見川区支え合いのまち 推進協議会だより 第25号



編集・発行

花見川区支え合いのまち
推進協議会事務局
花見川区高齢障害支援課
社会福祉協議会花見川区事務所

電話 043-275-6425

令和6年3月19日

令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、約3年間、緊急事態宣言の発出、外出自粛を始めとして日常生活において様々な制限が課せられ、地域活動の休止や中止を余儀なくされました。

令和5年5月に感染症法の分類が2類から5類に変更となり、行動制限も緩和されたことで日常生活がコロナ前に戻りつつあり、地域福祉活動も活発になってきています。

第5期「花見川区支え合いのまち推進計画」に基づく地域福祉活動の内容を一部ご紹介します。

地域の活動紹介①

朝日ヶ丘地区部会

～クリスマス会～

朝日ヶ丘地区部会では、毎月第4金曜日に「子育てサロンたんぽぽ」を開催しています。6ヶ月から3歳までの子どもと保護者を対象に、自由に遊んだり、おしゃべりや情報交換をしたり、楽しみながら仲間づくりができる場です。

令和5年12月22日には、クリスマス会を開催し、ピアノの生演奏に合わせてクリスマスソングをみんなで歌うなど、楽しいひと時となりました。初めての方でも気軽に参加できるサロンになっています。



地域の活動紹介②

畑地区部会

～買物支援サービス事業～

畑地区部会では、令和元年12月に社会福祉法人斉信会畑町ガーデンと民生委員・児童委員の協力を得て、買物支援サービス事業の試行を実施しました。その後、コロナ禍で実施が難しい状況が続きましたが、令和5年10月26日に3年ぶりに試行を再開できました。この日は、畑町ガーデンの送迎車が参加者3名のご自宅にお迎えにうかがい、JA千葉みらい農産物直売所しょいか〜ごへ。約1時間の買い物を満喫し、帰りの車内では楽しい会話で盛り上がりました。参加者の方々は、「楽しくおしゃべりもでき、協力員さんがいるので重いものも買うことができ助かりました」とおっしゃっていました。



地域の活動紹介③

あんしんケアセンター花見川

～認知症キッズサポーター養成講座～

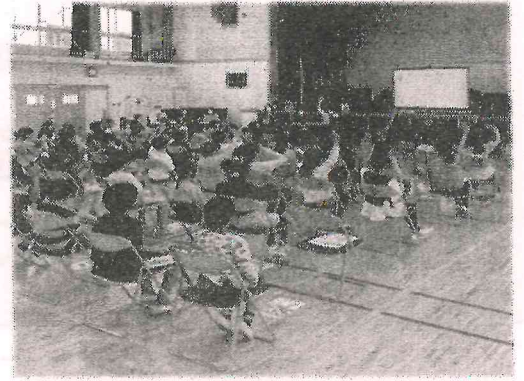
令和5年11月7日、作新小学校にてあんしんケアセンター花見川による、「認知症キッズサポーター養成講座」が開催されました。

参加したのは、4年生の56名と教員2名。

本講座は、認知症を正しく理解し、行動できるように働きかける体験型講座です。

紙芝居では、あんしんケアセンターの職員と教員が、認知症の高齢者、その家族に扮し、認知症の特徴的な症状や、望ましい接し方をわかりやすく演じました。紙芝居のあとの認知症クイズでは、子どもたちも真剣そのもの。街なかで困っているお年寄りと出会ったら、優しく声を掛けられる、頼もしい認知症サポーターに成長してくれることでしょう。

あんしんケアセンターでは、小学校の総合学習の一環として、「認知症キッズサポーター養成講座」を順次開催して参ります。



地域の活動紹介④

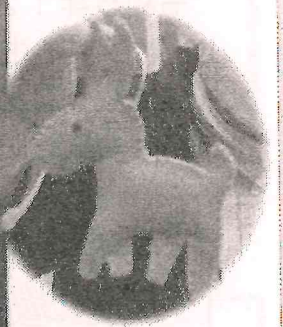
あんしんケアセンターこてはし台

～「多世代交流 ^{まるまる}〇〇カフェ」～

令和5年9月こてはし台地域ケア会議で、多世代交流の機会を作り、地域からの孤立予防等の必要性を確認しました。それを受け、令和元年度からコロナの影響で開催延期となっていた認知症カフェ「〇〇カフェ」開催に向け動き出しました。

自治会、地区部会、社会福祉法人オリーブの樹、こてはし台・横戸台ボランティアの会、206地区民生委員・児童委員の協力を得て、11月からオリーブハウスのフリースペースで月一回の「〇〇カフェ」開催することが出来ました。写真はマスコットづくりの様です。

「〇〇カフェ」は、地域住民や認知症・障害のある方、そのご家族等、どなたでも来られるカフェをコンセプトとし、〇〇の部分には、来られた方自身が好きなように名前を決めてもらえたらとの思いがあります。地域の人達が気軽に集い、認知症の人や家族の悩みを共有し合いながら、専門職に相談もできる場所となっています。



地域の活動紹介⑤

障害者福祉サービス事業所 オリーブハウス

～コミュニティコンサート～

社会福祉法人オリーブの樹は、障害者の就労や地域生活を援助する事業を展開しています。一方、法人の施設がこてはし台団地に隣接する場所にあることから、この地域の方々に向けての「ふれあいフェスティバル」の開催や高齢者のお困りごとを助ける「ごようきき活動」等の地域貢献事業も行っています。

その一環として毎年コミュニティコンサートを開催していますが、昨年は12月16日に千葉市を拠点に音楽活動をしているシンガーソングライターの松尾貴臣さんに演奏していただきました。当日は地域の方々、当法人施設の障害者や職員の方々等、約60名が聴きにきてくださいました。コンサートでは、松尾さんのオリジナル曲、他のシンガーのカバー曲などを軽快な語りを交え歌い、参加者も一緒に手拍子をしたり歌ったりと、中には歌に合わせて踊りだす障害者の方も出て、会場内に一体感が作られ、とても楽しいコンサートになりました。



地域の活動紹介⑥

町内自治会等

～「敬老会の開催」～

新型コロナウイルスの影響により、中止、縮小されていた敬老会が令和5年から本格的に復活しました。9月は敬老の日や週末に、各地区で敬老会が盛大に開催されました。

また、令和5年12月末の統計では、花見川区内にも100歳以上の方が84人もおられ、まさに、人生100年時代、長寿社会の進展を実感いたします。

披露された演目は、大いに盛り上がり、美味しいお弁当に舌鼓をうち、久しぶりの再会を喜び合う姿があちこちに。長寿を表彰された方もとても誇らしげでした。

敬老会の準備にあたった、運営スタッフも参加者の笑顔に癒され、苦労したかいがあったようです。

大きい会場、小さい会場と内容は様々ですが、どの会場も趣向を凝らした温かい敬老会となりました。



地区部会・民生委員児童委員協議会・赤十字奉仕団

～花見川区民まつりに参加～

令和5年10月22日に花島公園で、第31回花見川区民まつりが4年ぶりに開催され参加しました。

地区部会では、活動紹介パネルの展示でPRを行い、輪投げ等のゲームコーナーも設け、子どもも大人も笑顔で楽しんでいました。

民生委員児童委員協議会では、地域の身近な相談相手として広く知っていただくために、紹介パンフレットや啓発物品でPRを行い、多くの方に紹介することができました。

赤十字奉仕団では、ハイゼックス炊飯袋を使った非常食の炊き出しと豚汁の無料配布を行い、皆さん美味しいと大好評でした。

当日は、たくさんの方が訪れ、「来年もぜひ来てみたい」という声もかけていただきました。



～花見川区健康課～ ★ フレイルを予防して健康長寿 ★



千葉市においても100歳以上の方が増えていて人生100年時代を迎えています。

千葉市では、4月以降、健康診断や必要な病院受診をしていない方、令和4年度の健康診査の結果より、フレイル ※1 の対策が必要な方に向けて、お一人お一人の年齢やお体の状態に合わせた相談や家庭訪問を行います。対象となる方 ※2 には、専門職がご自宅に伺うために封書を発送する予定です。訪問の際は、事前にお電話にて訪問日程を決めます。

※1 フレイルとは健康な状態から介護が必要になる間の状態(虚弱という状態)のことを言います。【図1】

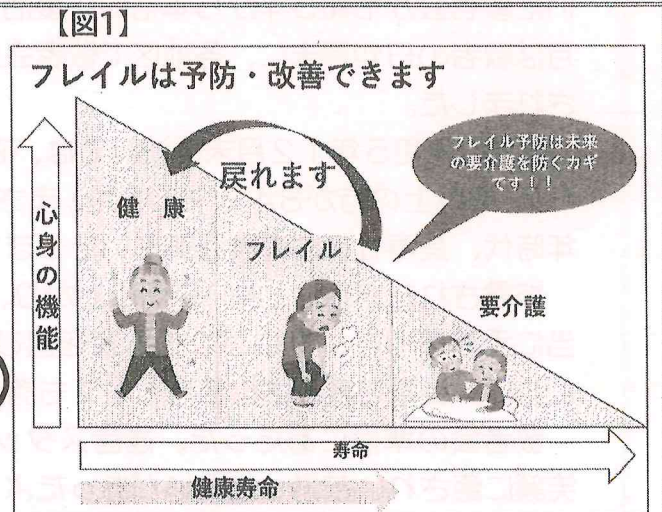
※2 訪問の対象

- ①過去2年以内に健康診断や病院受診をしていない
76歳以上の方

☺こちらは、令和6年5月頃発送予定です。

- ②令和4年度の健康診査の結果、低栄養状態にある方や運動機能が低下している方、口腔機能の低下もしくは、歯科受診を要する75歳以上の方

☺こちらは、令和6年9月頃発送予定です。



健康課では、『フレイル予防』の他にも健康に役立てていただきたい講座や医師等による講演会も開催しております。ぜひ、ご活用ください。

問い合わせ先：花見川保健福祉センター健康課 ☎ 043-275-6296

健康なまち花見川『糖尿病0(ゼロ)プロジェクト』も引き続き推進しています。

